

Case : 365

こたつ布団が歩行器の車輪に絡まり転びそうになる

場面の説明

歩行器で移動するときに、こたつ布団に車輪が絡まり、転倒しそうになった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 リビング・居間
介護保険の種目	 歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

こたつ布団に限らず、座布団や床敷きなども車輪に絡まりやすく、注意が必要です。生活する環境は季節で異なることがあり、夏に納品された歩行器では、冬にはこたつなどの使用環境の変化により、通行に十分な広さがなく危険が増している状況を想定されていない可能性もあります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：車輪がこたつ布団に絡まる危険性を認識していなかった
- モノ：キャスターが大きめで、こたつ布団の上でもなんとか走行できた
- 環境：こたつ布団と床面の色合いが似ていた
- 環境：モコモコの布団だった
- 管理：歩行器を導入した時が夏だったので、冬の環境を考えなかった